

会 議 録

会議名 (協議会等名)	令和5年度第3回大沼公民館運営協議会		
事務局 (担当課)	大沼公民館 電話042-744-7722(直通)		
開催日時	令和5年12月14日(木) 午後7時~8時 30分		
出席者	委員	21人中 19人出席(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	4人(館長代理、外3人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
議題	2 議 題 (1) 事業報告及び今後の事業について (2) スポーツ・レクリエーション事業実施結果について (3) 第26回大沼公民館まつり実施結果について (4) 第32回大沼子どもまつり実施結果について		

協議の要旨

主な内容は、次のとおり。

1 あいさつ（会長）

師走のお忙しいところお集まりいただき感謝。

年度内にはいくつか事業が残っているが、事業は滞りなく実施出来ている。

直近では大掃除、駐車場の白線引きなどご協力いただき感謝。

2 議題

(1) 事業報告及び今後の事業について

○11月5日グラウンドゴルフ大会を実施。6月に雨天のためできなかったが今回は子どもの参加も8名あった。2月にはウォーキングを予定している。

○10月は協力事業に参加した。11月に文化講座を実施。アンケートからも満足できる事業だったことがうかがえた。来年1月には新春大沼寄席を予定している。

○スポーツ・レクリエーション事業の中で大沼ギネスの一部を行った。公民館まつりには、4年ぶりに焼きそばの模擬店を出し、子どもまつりに向けた準備も出来た。

12月9日クリスマスのつどいでは、子どもとオーナメント(ステンドグラス)を各自飾り用と持ち帰り用に作成し、ゲームを楽しんだ。今月26日(火)には撤去する。

○190号を10月1日に発行した。委員の書いた「あとがき」を紹介したい。

「地域への参加は最小限にと考えていたが息子にとってはここが大切な故郷になることに気づいた。」とある。この方がこうしたことを感じてくれただけでも有難いと思う。

次回191号の2月1日発行に向けて取り組んでいる。

(2) スポーツ・レクリエーション事業実施結果について

○全体的にはうまくできたが、反省も多々ある。参加者は55名、参加者を増やす工夫をしていきたいと思っている。昔の自治会対抗体育祭とは異なる目的で楽しめるようにしたい。

(3) 第26回大沼公民館まつり実施結果について

○大勢の方にご協力いただき感謝。実行委員会を組織して運営できた。以前のように模擬店や講習会も実施し、天気にも恵まれ盛況だった。

第4回の実行委員会反省会は分野別に分かれ、活発に意見や課題等が出された。駐車・駐輪場係り決めの方法等、課題については来年度に活かしていきたい。

【意見等】

○専門部で模擬店を行ったため館内の様子を見る余裕がなかった。次は交代するなど工夫したい。

○「大沼の歴史」が印象深かった。知らないことがまだまだたくさんあると感じた。

(4) 第32回大沼子どもまつり実施結果について

○当日は寒くなり小雨も降ったが、何とか出来た。スローガンは子どもたちが考えたもの。模擬店もコロナ前に戻して出来た。発表も大野南中が主体的に参加してくれた。内容も素晴らしく、吹奏楽の演奏を聞いた子のアンケートには「中学に行ったら吹奏楽部に入部する」というものもあった。

人が少なく大変。青少年健全育成協議会や大沼おやじの会にも協力いただいたが、規模

を大きくした分大変な思いをさせてしまった。子どもの実行委員長も自ら手を挙げた子たちで、終了後は反省会を行った。インフルエンザの流行で学級閉鎖もあったが、当日に解除になるというラッキーもあった。「世代を超えて地域で育成」という趣旨に沿った事業ができたと思う。

【意見等】

- 子どもが描いた絵のポスターやプログラムを拝見した。学校とは異なる子どもの姿を見ることが出来、ほっこりした気持ちになれた。
- 子どもの運営を見られ良かった。今年はお弁当にしてもらい、ゆっくりと休憩が取れていたのはよかった。
- 自転車置き場を奥でなく道路に近い側に設定したのは良かったと思う。

3 その他

(1) 市政功労表彰について

事務局から、当協議会の委員でもある加藤美夜子氏が表彰されたと報告があった。

(2) 神奈川県公民館大会について

事務局から日程等について説明があり、12月17日まで申込の依頼があった。

(3) 視察研修について

事務局から日程等について説明があり、12月26日までに申込の依頼があった。

(4) 第48回相模原市公民館のつどいについて

事務局から日程等について説明があり、1月4日までに申込の依頼があった。

(5) 大沼公民館運営協議会の開催日時(予定)について

事務局から次回日程について説明があった。

	日 時	会 場
第4回	令和6年3月7日(木) 午後7時から	大沼公民館大会議室

(6) その他

(館長)「公民館活動における市内文化財の活用」について、教育委員会から文化財を公民館でも積極的に活用して欲しいと依頼があった。

想定されるのは文化財をテーマとした出前講座や、現地に行ってみたりするようなことができる(といい)市にもそれなりの歴史がある、未来を生きる子どもたちに紹介したい。

もう一点は、令和7年度に向け振興計画の改定作業を来年1年かけて行う予定。詳しく今後お知らせさせていただくので、ご協力をお願いします。

○地域で(市の登録無形民俗文化財の)土窯搗き唄(ドガマツキウタ)は炭焼きの労働歌で残っているが担い手不足の状況である。そういうことに公民館がどこまで関わられるか難しい点もあるが検討していきたい。

4 意見交換等

○普段公民館に関わらない方でも、活性化させる意味で、何かあれば承りたい。

○スポレク事業について、開会式での挨拶は必要なのか。実行委員は時間の流れを承知しているが、参加者には分からなかったのではないか。子どもにあの体操はどうか。高齢にとっては？ 時間がもったいないと感じた。

○確かに面白くなかった。去年は声掛けにより高齢者が多かった。今年は自由参加にした結果、このようになった。体操の先生との打ち合わせも十分でなかった。

- 時間配分は去年を踏襲してしまった。体育部が一番反省している。来年は改善したい。
- 親子の参加者にとって日曜日の朝に小さい子と準備し9時集合はどうか。途中からの参加者も結構多かったので10時位の方が参加しやすいのでは。
- チラシに子どもたちが行ってみようと思うキャッチーな言葉がなかったと思う。
- 来年はもう少し検討していきたい。親子の参加者が増えたことは評価したい。
- スポーツは好き嫌いが分かれるので難しい。親がやらないと子どももやらない。良い案があれば教えてほしい。(以前の)体育祭の中にも楽しい競技もあった。
- (館長)地区体育祭がかつて行われていたが、少子高齢化等により自治会の中には選手を出すことが難しく、参加出来ない自治会もあって、今のスポレクの形になった。他地区では自治会が主導しているところや、色別にしてチームを分けるなどしている。ふるさとまつりのようにやり方次第で工夫し合って目的を達成していけばよい。
- 体育部という名称も古めかしい。
- 担い手がいないということはどこも同じだが、これだけの種類をいろいろやっているのは感心する。
- 何であれば楽しいのかを考える。例えば綱引きを最後にやります！とアピールするとか、難しいゲームをする等。
- スポレク中心の意見交換になったが、全体をとおして何かあればどうぞ。
- 全てについて開会式は長すぎる。来賓の挨拶いらぬ。
- 貴重なご意見に感謝。他の事業等への参考にさせていただきたい。他にもアイデア等があればぜひ担当職員へ教えていただきたい。
- 研修等の参加募集案内については期限までに公民館へ連絡していただきたい。

以上

大沼公民館運営協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	佐藤 純	大沼公民館館長	会 長	出席
2	東條 久美子	大沼小学校校長	会計監査	出席
3	鴨宮 結花	大野台小学校副校長		出席
4	金指 正明	大野南中学校副校長		出席
5	高田 祥次	大沼若松自治会連絡協議会会長 (大沼自治会会長)	副会長 (議長)	出席
6	萩生田 秀利	大沼若松自治会連絡協議会副会長 (西大沼中央自治会会長)		出席
7	汐見 壽夫	大沼若松自治会連絡協議会副会長 (若沼自治会会長)		出席
8	堀尾 さとみ	大野台小学校 PTA 書記		出席
9	野村 光平	大野中地区老人会連合会副会長		出席
10	倉部 慎一 (樋口 和也)	大野中地区球技連盟副理事長		出席 (代理)
11	加藤 美夜子	大沼地区青少年健全育成協議会代表		出席
12	上田 照子	大沼公民館利用登録団体連絡会副会長	会 計	出席
13	堤 道子	大野中地区民生委員・児童委員協議会会長		出席
14	五十嵐 弘美	大沼保育園園長		出席
15	高下 英則	大沼地域包括支援センター		欠席
16	添野 恵子	公募委員		欠席
17	市川 裕子	大沼地区スポーツ推進委員		出席
18	大木 英史	大沼公民館体育部副部長		出席
19	廣田 幸一	大沼公民館文化部部長		出席
20	山本 達郎	大沼公民館青少年部部長		出席
21	松尾 景子	大沼公民館広報部部長		出席